



大阪対がん協会報

2013年12月発行

公益財団法人 大阪対がん協会

〒530-8211 大阪市北区中之島2-3-18 朝日新聞社内
(中之島フェスティバルタワー 15階)

TEL 06-6201-8029 FAX 06-6201-8615

E-mail : office@osakacancer.jp HP : http://www.osakacancer.jp

がん研究 助成奨励金

2013年度贈呈規程決まる

受賞者15人に各30万円

大阪対がん協会（堀正二会長）は10月29日、大阪市北区中之島の朝日新聞社会議室で理事会を開き、2013年度がん研究助成奨励金の贈呈規程、選考委員などを決めました。11月29日から12月13日まで研究成果の応募を受け付けました。年明けから選考委員による採点が行われ、2月17日に選考委員会を開いて受賞者を決めます。受賞者はホームページで公表します。奨励金の贈呈式は3月17日を予定しています。

がん研究助成奨励金は、がんの予防と治療に役立つ研究や取り組みに従事している医師や看護師、医療従事者を助成・奨励するもので、今回が54回目となります。若手育成を目指し応募資格は満40歳未満の方に限っています。今年度は「基礎」「臨床及び疫学」「看護等」の3部門で計15人の受賞者を選び、各30万円を贈ります。

協会が公益財団法人に移行したのに伴い、今年度は贈呈規程を一部見直しました。採点の目安とするため、三つの審査基準（研究の新規性、研究計画・進捗状況、がん医療への貢献）を設け、申請書の様式も変更しました。募集内容はホームページで公表するとともに、大阪府内の大学や研究機関、がん診療拠点病院などに幅広く応募を呼びかけました。

採点に当たる選考委員は、専門分野別に「基礎」5人、「臨床及び疫学」5人、「看護等」3人の計13人に委嘱しました。うち4人が新しいメンバーです。採点結果をもとに受賞者を決める選考委員会では、協会長の堀正二・大阪府立成人病センター総長が選考委員長を務めます。

◇◇◇ 選考委員 13氏に委嘱（敬称略） ◇◇◇

【基礎】

大道 正英(*)大阪医科大学教授
加藤 菊也 大阪府立成人病センター研究所長
金田 安史(*)大阪大学大学院医学系研究科長・
医学部長

木下 博明 大阪市立大学名誉教授
小山 博記 大阪府立成人病センター名誉総長
津熊 秀明 大阪府立成人病センター
がん予防情報センター長

【看護等】

北村 幸彦 大阪大学名誉教授
螺良 愛郎 関西医科大学教授

荒尾 晴恵(*)大阪大学大学院医学系研究科教授
今中 基晴 大阪市立大学大学院看護学研究科長
田中 京子 大阪府立大学看護学部教授

【臨床及び疫学】

荒川 哲男(*)大阪市立大学医学系研究科教授
奥野 清隆 近畿大学医学部外科学主任教授

(*)は新規委員

がん看護セミナー

がん看護セミナー「がんとその心得」が11月8日、大阪市北区中之島の朝日新聞社アサコムホールで開かれ、約60人が参加しました。公益財団法人移行後、大阪対がん協会が初めて主催した啓発行事で、女性のがんを中心にがんの予防やがんになった時の心得を、講演とシンポジウムを通して考えました。講演は大阪府立成人病センターの井岡亜希子先生による「女性に多いがん」、同センターの上浦祥司先生による「子宮がん診療の最近の動向」、続いて4人のシンポジストが「今どきのがんと向き合い方」をテーマに意見を述べ合いました＝写真。



リレー・フォー・ライフ大阪

がん患者支援イベントのリレー・フォー・ライフ（RFL）が、9月と10月に大阪府内の2会場で開催されました。昨年、大阪府では初めてRFLが開催された貝塚市の府営二色の浜公園・球技広場では2年連続の会場となり、9月21、22の両日に催されました。10月12、13の両日には、大阪市中央区の府立大手前高校グラ



ウンドで開催されました＝写真。大手前高校での開催は、同校3年在学中の今年1月にユーイング肉腫で亡くなった久保田鈴之介さんの遺志を受け継ぐ形で企画されたもので、高校での開催は全国的にも珍しく、注目を集めました。2会場とも日本対がん協会とRFL大阪実行委員会（増田悦子委員長）が主催、大阪対がん協会はイベントを「後援」し、PRなどに協力しました。

RFLは昼夜を通してグラウンドの周回コースを歩き、がん患者を励まし、寄付を募るイベントです。特設ステージでバンドや歌手の演奏、夜は紙袋とろうそくで作ったルミナリエを点灯し、がんで亡くなった人をしのびました。医師による講演もあり、大手前会場では日本対がん協会の垣添忠生会長ががんで亡くなった妻の看取り体験などを語りました。

実行委によると、貝塚会場の参加者は1681人、大手前会場の参加者は2461人、募金の総額は両会場合わせて約540万円に上りました。経費を除いた額が日本対がん協会に寄付されます。



がん予防キャンペーン大阪

がん予防キャンペーン大阪2013が10月5日、大阪市中央区の朝日生命ホールで開かれました。大阪対がん協会など11団体で構成するキャンペーン実行委員会が主催、約200人が参加しました。

テーマは「正しく知ろう！胃がん検診と最近の治療法」。専門医の講演や総合討論を通して、ピロリ菌と胃がんの関係や最近の胃がん手術、胃がん検診の大切さなどが話されました。

がん死亡率 大阪府は少し改善

男性＝ワースト7位 女性＝ワースト5位 （前年より1ランクアップ）

【都道府県別順位】

国立がん研究センターが公表した最新の都道府県別がん死亡率（75歳未満、2012年値）によると、大阪府は男性が人口10万人あたり113.6人で全国ワースト7位、女性が63.2人でワースト5位でした（表）。前年（2011年値）は男性が118.3人でワースト6位、女性が66.3人でワースト4位だったのに比べ、男女とも死亡率が少し下がった結果、順位も一つずつ良くなりました。

都道府県別がん年齢調整死亡率は、1985年以降2000年まで大阪府が男女とも全国ワースト1位でした。2005年に男性がワースト2（女性はなおワースト1）となり、その後は徐々に順位が改善してきています。

表：全がん75歳未満年齢調整死亡率（2012年）

（ ）内は前年順位、数字は人口10万人当たりの人数

| 男性 | ワースト10 | 順位 | 女性 | ワースト10 | |
|-----|--------|-------|----|---------|------|
| 青森 | (1) | 127.6 | ① | 青森 (5) | 71.3 |
| 秋田 | (4) | 117.9 | ② | 北海道 (3) | 66.4 |
| 和歌山 | (3) | 117.5 | ③ | 茨城 (27) | 63.7 |
| 北海道 | (5) | 117.5 | ④ | 秋田 (7) | 63.3 |
| 佐賀 | (10) | 116.1 | ⑤ | 大阪 (4) | 63.2 |
| 長崎 | (9) | 113.7 | ⑥ | 佐賀 (1) | 63.1 |
| 大阪 | (6) | 113.6 | ⑦ | 福岡 (8) | 63.0 |
| 福岡 | (7) | 112.5 | ⑧ | 埼玉 (16) | 62.6 |
| 愛媛 | (18) | 111.1 | ⑨ | 京都 (29) | 62.3 |
| 鹿児島 | (14) | 109.7 | ⑩ | 鳥取 (10) | 62.2 |

資料：国立がん研究センター「人口動態統計による都道府県別がん死亡データ」より

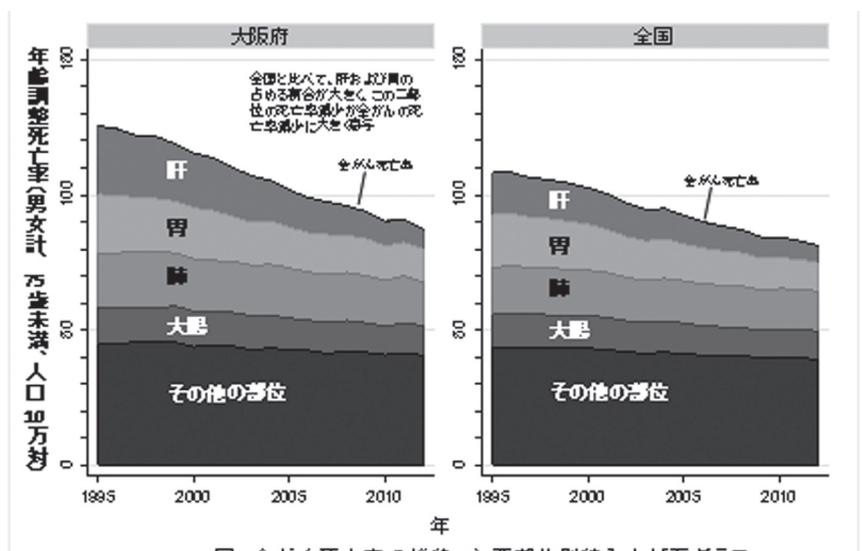
【がん死亡率の推移】

男女計の全がん年齢調整死亡率（75歳未満）の年次推移を、主要部位（肺、胃、大腸、肝、その他）に分け、積み上げ面グラフで描きました（左：大阪府、右：全国）。

大阪府の全がん死亡率は、1995年以降全国よりも急勾配で減少しています（年平均の減少率は大阪府2.2%、全国1.8%）。図から、全がん死亡率の減少には、肝がんと胃がん減少の寄与が大きいことが分かりますが、大阪府ではとりわけC型肝炎に由来する肝がん流行の影響が大きかったと考えられています。

全がん死亡に占める割合は、現在、肺がんが最も大きく、肺がんの死亡率減少傾向はいまだ明らかではありません。がん死亡率の減少を加速させる上で、胃や大腸がんに対する早期診断と並んで肺がんの主要因である喫煙（受動喫煙防止を含む）への対策が引き続き重要です。

〈監修：大阪府立成人病センターがん予防情報センター〉



図：全がん死亡率の推移、主要部位別積み上げ面グラフ（男女計、75歳未満、昭和60年モデル人口10万対）

来春のがん検診 4月・5月に実施

2月17日(月)から受け付け

- 検診機関 大阪がん循環器病予防センター
〒536-8588 大阪市城東区森之宮1丁目6-107
 - 検診期間 4月1日(火)から5月30日(金)まで
 - 申込期間 2月17日(月)から3月14日(金)まで
 - 検診項目
 - 胃** X線直接撮影(7,722円)
検査を受ける方は、前夜の夕食を午後10時までにとりください
お水・お茶は就寝前までかまいません
検査当日は、午前7時までにコップ1杯程度の水(約200ml)を飲んでください。
また、朝から禁煙してください
 - 肺** X線直接撮影(3,132円) 喀痰細胞診(3,024円) 胸部ヘリカルCT(8,694円)
※胸部ヘルカリCT:従来の胸部X線撮影では発見されにくい小さな病変を発見できます
 - 乳腺** 視触診+マンモグラフィー(5,184円)
※マンモグラフィー:内外斜位方向撮影や頭尾方向撮影を用いるので、視触診ではわからない早期がんの発見に役立ちます
 - 子宮** 子宮がんを主とする細胞診
頸部(5,076円) 頸部+体部(7,992円)
 - 大腸** 免疫学的便潜血検査(1,317円)
申し込み受付後、採便キットを郵送させていただきますので、採便後、大阪がん循環器病予防センターまでお持ちください。
- ※前立腺がんの検査もできます(3,024円)。同時に申し込んでください

検診の申し込みは 電話で

2月17日(月)からの受付を厳守してください

大阪がん循環器病予防センター(予約センター)

電話 **06-6969-6712**

受付曜日:月曜日~金曜日(祝日を除く)

受付時間:10時~12時 13時~16時

※「大阪対がん協会の、がん検診希望」といってお申し込みください
後日、ご自宅に受診票が届きます

〔会員特典〕

上記検診の領収書(コピーでも可)に、4月下旬ごろお送りする「がん検診サービス券」を付けて、大阪対がん協会にお送りいただくと、1,000円相当の買い物ができるクオカードをお送りします。